

第7回香美市地域公共交通活性化協議会 議事概要

日時 令和7年2月14日(金) 10時00分～11時30分

場所 香美市役所本庁舎 3階会議室

出席者

委員 西内裕晶(会長)、恒石猛臣(副会長)、島田有哉(代理)、高橋順、宮村彰彦(代理)、下本聖憲、野村文紀、山中崇義(代理)、中山繁美、岡崎宏司(代理)、前田薰(代理)、石元幸司、片岡亮、伊藤栄、大石栄介、前川友幸(7条7に基づく出席)、川崎佳孝(代理)、依光由美子、小松美佐子、竹平豊久、田村明弘、熊瀬ゆみ、小松達也、熊瀬文人、西岡雅彦

事務局 小松伯聖(香美市定住推進課長)、谷祐輔(香美市定住推進課)

議事

香美市地域公共交通計画の事業進捗について

事務局から資料1、資料2に基づく説明

資料1

目標① 公共交通が移動手段として機能する

委員からの質問	事務局回答
公共交通の利用者数、現状値の内訳、どのような変化があったか。	内訳の説明。四国旅客鉄道、ジェイアール四国バスの割合が大きく、達成は2社の状況に大きく左右される。
NHK朝ドラに向けて公共交通以外の移動手段の提供を検討しているか。	物部川DMOのシャトルバスの概要を説明

資料2

事業① 乗り方教室・出前講座の実施 関係

委員からの意見
・本年度は社会福祉協議会との連携で高齢者を対象としているが、学校との連携により小学生等を乗り方教室の対象として、若い時分より公共交通に親しんでもらえると良い。SDGs教育とも親和性がある。 ・運行事業者としてもこの事業に協力したい。運転手という仕事も見てもらえることになり、未来の運転手候補になるかもしれない。 ・高齢者でこの出前教室に参加した人が、別の日の市内イベントへの参加のために積極的に市営バスを利用している事の報告。便利であるが、あけぼの街道線については運行日が限られている事もあり拡充を望む声もある。 ・イベント実施(参加)と時刻表の関係について、定性的にでも情報を抑えておくと、今後の時刻表改正に役立つ。

事業⑩ 公共交通無料デーの実施

委員からの意見
公共交通を知つてもらうというメリットの他にも、運賃がいくらだったら利用者が反応するかを探る観点もあると思う。

事業⑪ 自動運転に向けた勉強会

委員からの質問	ジェイアール四国バス回答
ジェイアール四国バス大橋線の自動運転導入に向けた動きは。	無人化技術の確立、法整備、他社の状況等をみてからの検討になると思われる
委員からの質問	委員(南国警察署交通課)説明
自動運転では追い越し時のリスクがあると思われるが、バス停での停車中の追い越しについて 道路交通法は。	道路交通法での追い越しについて説明

事業⑫ わかりやすく利便性の高いバスネットワークの形成

委員(ジェイアール四国バス)説明
ジェイアール四国バスより4月1日実施の時刻表改正について、概要や経過等の説明

委員からの質問	ジェイアール四国バス回答
ジェイアール四国バスの時刻表改正について、具体的な内容や、NHK朝ドラ観光等への影響は。	便数の調整内容について説明 国道混雑による遅延回避も加味しての検討だった旨の説明 フリー乗降・フリーパス等の取り組みで、NHK朝ドラの観光客の皆様にも活用してもらいたい旨の説明

事業⑬ 定期的な利用者調査

委員からの意見
公共交通へのニーズがどのように変化しているか調べるのが大事。運行事業者とも協議をし、計画的に調査を実施するとよい。

事業⑭ 通学支援の維持・継続

委員からの意見
市営バスの通学無料について、距離的制限より制度から外れる児童生徒でも、道路状況により徒步での通学がしづらい人もいるので一考いただきたい。

事業⑯ 土佐山田駅からのいち駅を結ぶ交通モードの検討

委員からの質問	事務局回答
香南市側との協議内容(進捗)は。	山田高等学校生徒のニーズ、運行事業者の事、運行ルート案、香南市側の状況等について、情報交換を行った段階。
運行開始日の見通しは。	香南市側の公共交通再編に合わせるのであれば、最短で令和8年10月という日付があるが、未定という状態。
自動運転での運行の可能性は。	現時点では通常の車両での運行を検討していることを説明。
委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・多くのバス路線がニーズ無くなり再編等を迫られている中、ニーズがあり新規路線というのは県内でも稀有な例だと思う。いろいろ情報整理を行って進めてもらいたい。 ・運行事業者として参加できる可能性を示唆 ・実際にバスを利用するニーズ人数については聞き取り調査等、確認が必要 	

事業⑰ 公共交通オープンデータ(GTFS)の整備・更新

委員からの意見
市営バス情報がgoogleへの掲載された。今後はこれをより多くの方に使ってもらう・知つてもらう事が大事。若い方がスマホから公共交通を知り、移動手段の選択肢になるよう、つなげてもらいたい。

事業⑱ キャッシュレス化の推進

委員からの質問	事務局回答
最近の状況を見ると、クレジットカードを活用したシステムが見られるが検討内容は。	市営バスについては、「ですか」を念頭にしているが、市営バスの運賃収入とキャッシュレス化のためのコストの兼ね合いからすぐに推進という現状ではないことを説明
ジェイアール四国バス回答	
ですか、カミカ、paypay、スマホ定期が利用できることを説明。設備投資をしてまで、クレジットカード対応するかどうかについては国内での普及を様子見という説明	

その他・総合

委員からの意見
<ul style="list-style-type: none"> ・本日説明のあった事業の中でも自動運転、土佐山田駅・のいち駅新路線など、国の支援メニューで対応できそうなものが複数あったので、今後説明会等があるので、活用の検討を(運輸局) ・多くの人にとって公共交通が移動の選択肢となることが大事。